

## なからぎ

218号

2017年7月

## 日本語に飢えている時に会った本

生命環境科学研究科長 渡部 邦彦

40年も前、大学3年生の夏、貯めてきたお金で念願の米国旅行に1ヶ月行きました。その感動は抑えきれず、次は留学でと決意し、修士2年生の夏、今度はある財団の奨学金で1年間米国中西部のオハイオ州コロンバスにある大学の大学院へ行きました。

インターネットがない時代、旧知もおらず、地平線が見渡せるアパートのルームメイトは地元出身の米国人、研究室でも日本人はいません。夢一杯だった当初の意欲は、数週間も日本語をしゃべる機会がない生活と予想以上の英語の壁に少しずつ萎え気味に。クリスマスの頃、キャンパス近隣がひっそりする中、帰省して誰もいなくなったアパートと研究室を寂しく往復していました。開いていた大学の図書館に偶々立ち寄った時、小さな大発見！ 最上階の一番奥まった本棚に、ひっそりと日本文学全集が並んでいたのです。こんな所になぜ？の驚きと共に、日本語への異常な渇きと湧き上がる郷愁。砂地に水を撒くようにとはこのことで、全集の中でもとりわけ繊細な心情を綴る川端康成や、多彩な漢字を操る吉川英治の文章は、吸い込むように入ってきました。

その冬は例年になく厳しく、戸外は時には-20度、その後2ヶ月以上、日中でも氷点下。気候にも慣れず、進まない研究、上達しない英語力に悶々としながら、心も疲弊していきました。日本の指導教授からは、愚痴っぽい私の近況の手紙に辟易したのか、『宮本武蔵』（吉川英治）の一節を引用した「事において後悔せず」と重い言葉を頂く始末。またあの図書館に行き、この本を再読後はオアシスで蘇生した気分。その後、日本から送られてきたのは『若き数学者のアメリカ』（藤原正彦）。同じ米国中西部での厳しい冬と大学での研究生活の葛藤にただならぬ共感を覚えたのは、春の気配と共に、英語や研究に何かが芽生えるのを感じ始めた頃でした。少しずつ研究が進み出したら、あっという間に夏が来て帰国が目の前に。最後は『さようならコロンバス』（フィリップ・ロス）と心で反復しながら、自分のポンコツ車で大陸横断しようと帰国の途につきました。

思い返しても、やっぱりしんどかったその1年。自分の日常の研究活動でも大学の図書館への謝意は半端ないのですが、心がくじけ、日本語に飢えた時の支えやオアシスになってくれた本、それを守っていた図書館の存在には、今も感謝しています。

次は博士研究者として留学！との思いを強く抱き、本学に赴任後、在外研究で1年近くボストンへ。そこでの本との出会いの話はまたいつか。

(わたなべ く に ひ こ : 生命環境科学研究科教授)

御紹介の『宮本武蔵』全8巻(新潮文庫)吉川英治著 新潮社 2013刊(請求記号913.6 || Y || 1~8)、『若き数学者のアメリカ』改版 藤原正彦著 新潮社 2003.9刊(請求記号295.3 || F)、『さようならコロンバス』(集英社文庫)フィリップ・ロス著;佐伯彰一訳 集英社 1977刊(請求記号933.7 || R)は、2階視聴覚コーナーに配架していますので御活用ください。

## 必要に迫られ手にした文庫本

図書館運営委員 桑波田 雅 士

6月初旬、出張先のホテルにて、図書館事務長からの原稿依頼メールを確認しました。これはまた大変な仕事が舞い込んだと落ち込みつつ、今後の対処法を思い浮かべていました。私は家族を四国の徳島県に残し、平成19年10月より単身赴任で本学に勤務しています。妻は徳島県職員で、司書として働いており、いわゆる本の専門家です。出張から戻った日の夜、電話で救いを求めました。事情を説明し、何か適当な本を提案するように頼みましたが、自分で面白そうと感じる本を読めと突き放されてしまいました。確かに妻と私では好みも全く異なっており、妻が読んでいる本を私が読もうとしても、30分以内に挫折して止めてしまうことに疑いの余地はありません。完全に私の性格を見透かされていました。その上で、以下が妻から受けた助言です。まず、私のような読書習慣のない人間には、文庫本や新書と呼ばれる小型の本で、あまり長くない書物が読みやすいであろうと言われました。さらに、本のタイトルから興味を引くものを選ぶと思うが、目次も目を通すようにとの助言を受けました。特に私のような人間は、タイトルだけで手に取り読み始めたとしても、想定外の方向に話が進むようなら投げ出してしまう可能性が高いだろうとの提案でした。皆さんには当てはまらないかも知れませんが、少なくとも私にとっては的確な提案であったと、現在も感じています。

その1週間後、私は研究室所属4回生の教

育実習巡回指導のため、舞鶴市を訪れていました。出版社から依頼されていた教科書原稿の編集資料を持参しておりましたが、想定以上に作業が進み、往路の特急列車内で原稿の整理が終わってしまいました。そこで、小学校の巡回を終えて西舞鶴駅まで戻ったのち、近隣のショッピングモール内の書店に出向きました。陳列棚の中から何となくタイトルが引かかった1冊の文庫本を手に取り、妻の指示通り、目次を確認しました。「何じゃこりゃ？」というのが率直な感想でしたが、冒頭の2頁に目を通したところ、何となく読んでみようかという気になりました。著者や出版社の術中に、まんまとはまったとも言えますし、帰路の特急列車の発車時刻が迫っていたということも大きな要因だったと思います。さらに、東大・京大で1番読まれた本というオビ広告が、これで良いやと思わせたのも正直な理由です。私は、『思考の整理学』（外山滋比古著）という文庫本を購入しました。

1章に述べられていた考え方に、ある程度は同意できると感じたことが、この本を選んだ理由です。そこには「グライダー人間」と「飛行機人間」という言葉が用いられていました。そして近年の学校は、グライダー人間訓練所と比喻されています。学校の生徒は、先生と教科書に引っ張られて、勉強している。そこに示された情報をとにかく多く詰め込んだ者が優等生と呼ばれるが、悲しいことに自力で飛ぶことはできない。「自分で考え、好

きなようにやってみろ。」というような指示を受けた日には途方にくれて、じっとしている。このような人間がグライダー人間だそうです。ちなみに学生を非難しているのではなく、現代社会が作り上げてきた教育形態が、そもそもグライダーを作り出すようなシステムであること、さらに最も程度が高い学問を学ぶとされる大学でさえ、グライダーを育てるような指導をしている教員がいることを著者は問題と捉えているように感じました。一方、自分で考え、行動できる人間は、自力飛行ができる飛行機人間と記されています。社会人として生きていく上で、この自力飛行する能力はとても重要です。ただし、自身の願望や思い込みだけで、好き勝手な方向へ飛び出すような飛行機では誰からも必要とされません。その場の状況に応じて適切な方向を選択するためには、グライダー訓練で集積した知識が必要となります。すなわち、エンジンを搭載したグライダー人間が最も理想的であるとの考えに基づいて書かれた本です。そしてこの本では、どういうことを心掛ければ、グライダー兼飛行機のような人間になれるのかという著者からの提案が述べられています。私も携わった学生には、ぜひとも自力飛行する能力を持って巣立って行ってほしいと願っています。なお、考え方の根底は著者と同じかもしれませんが、私にとっては本書で述べられている内容の全てが納得できるものではありませんでした。私はヒトの身体を管理する領域を専門とする理系の研究者です。少なくとも現時点では、著者の提案は科学的根拠を逸脱した個人的な感覚に基づく主張としか、私には捉えられない箇所もありました。ただ

私が読んでいるのは科学論文ではありませんので、特に問題視するような事でもないだろうと読み続けることができました。個人的に全ての著者の提案を受け入れる必要は無いと思いますが、皆さんが参考にしても良いかなと感じる内容に出会える可能性も十分にあると思います。本学では4年次に卒業研究が課されており、全員が卒業論文を作成しなければなりません。研究に取り組み、論文にまとめるという作業は自分自身が進めなければならないことであり、グライダーのように他の要因に任せていても成し遂げることはできません。卒業研究を始める前に、また社会人として巣立っていく前に、一読しても良いのではと感じられた本でした。

現在、私はさまざまな用務に負われる日々を過ごしており、本来は最優先に取り組むべき研究に充てる時間を後回しにしなければならない生活を送っています。そんな中、全く専門とは異なる領域の文庫本を読むことになりました。依頼を受けた時の私の心中は察して頂けるかと思います。しかし不思議なことに、苦と感ずること無く、数日で本を読み終えました。読んでいる間は他の用務を忘れ、快適な気分転換であったとさえ感じられました。とりあえず本を読んでみるという行動は、知識を得る以外にも、いろいろな影響をもたらしてくれる素敵なことかもしれません。社会人になってから読書を習慣付けるのには時間的制約も考えてしまいますので、学生時代に試みてもみるのも良いのではないのでしょうか。

(くわはた まさし：

生命環境科学研究科教授)

---

御紹介の『思考の整理学』(ちくま文庫)外山滋比古著 筑摩書房 1986.4刊(請求記号002.7 || T)は、2階視聴覚コーナーに配架していますので御活用ください。



## 平成29年度 第1回 図書館運営委員会開催報告

平成29年度第1回の附属図書館運営委員会が6月12日(月)に附属図書館会議室で開催されました。その概要は、次のとおりです。

### 議 題

#### (1) 図書館運営体制について

今年度の委員を紹介、「自己評価・あり方検討WG」、「選書WG」、「電子ジャーナルWG」の構成メンバーが決定され、新館の運営について、職員体制、業務委託、設備等の説明がされた。

#### (2) 平成28年度決算及び事業報告について

決算・活動報告、機関リポジトリによる学位論文(博士)の公開、図書館移転準備費によるICタグ貼付、自動貸出機導入、防犯カメラ設置などについて報告された。年度計画は全て実施し、自己評価はⅢとしている。ICタグ貼付作業や移転のため休館日数が多かったが、年間貸出冊数の減少はなかった。以上について承認された。

#### (3) 平成29年度予算及び年度計画について

昨年度予算との変更は、夜間開放事業が廃止、夜間・土日開館のための図書館業務委託費が計上され、運営費・各種補助金負担金に、ICタグ購入経費とオープンアクセス機関リポジトリ推進協会経費が増額、新館用の備品購入費が手当されている。年度計画は、府民向けの情報発信や府民開放の推進などが追加されている。以上について承認された。

#### (4) 大学機関別認証評価評価結果について

認証評価結果の概要が報告された。

#### (5) 情報メディア構想に対する図書館からの要望について

情報メディアセンターと図書館の関わり、

旧図書館の利用等について、あり方ワーキングで検討することとされた。

#### (6) 電子ジャーナル購読について

2016年から、価格の高騰、為替相場の影響等を受けて契約タイトルの大幅な見直しが行われた。これに基づき今年度の契約は完了しており、今後も継続することが了承された。

#### (7) 新館開館後の利用状況について

利用カードの発行数、貸出状況、グループ研究室等の利用状況が報告された。

#### (8) 新館開館後に見えてきた課題について

課題が報告された後、意見交換が行われ、終日利用や無断キャンセルへの対応として、研究個室予約時間の制限等が了承された。

#### (9) 学習基本図書の購入リスト提出の依頼について

例年どおりであり、後日一斉メールで全教員へ依頼する。

#### (10) その他

部局長会議で報告済みの学校史切り取り事案について、被害のないことが報告された。

### 平成29年度 図書館運営委員会 (WG体制)

29.4.1 現在

所 属	職 名	委員氏名	所属WG
附属図書館	館 長 (生命環境科学 研究科 教授)	田 中 和 博	
文 学 部	教 授	山 崎 福 之	自己評価・あり方検討
	教 授	中 純 夫	電子ジャーナル
	准 教 授	出 口 菜 摘	選書
公共政策学部	准 教 授	下 村 誠	電子ジャーナル
	准 教 授	竹 部 晴 美	自己評価・あり方検討
	准 教 授	田 所 祐 史	選書
生命環境科学 研 究 科	教 授	矢 内 純 太	選書
	准 教 授	大 坪 憲 弘	電子ジャーナル
	教 授	桑 波 田 雅 士	自己評価・あり方検討
	准 教 授	田 伏 正 佳	電子ジャーナル
	准 教 授	河 合 慎 介	自己評価・あり方検討
附属図書館	教 授	高 原 光	選書
	事 務 長	岡 本 誠	
	主 査	亀 村 志 保	

## 平成28年度の利用者サービスをふりかえって

### ～学生 1 人当たりの貸出冊数が初の10冊超えに～ 貸出総数も実質過去最高に

28年度は新館への移転準備及び移転作業のため開館日数が昨年より42日少なかった181日にもかかわらず、学生貸出総数は昨年度より700冊以上増加しています。

過去最高だった平成23年度の21,578冊（開館日数220日）には及びませんでした。開館日比率で計算してみると25,639冊になります。実質過去最高だったと言えます。

また、初めて学生 1 人当たりの貸出し冊数が 1 人10冊を超えました。

過去10年間の貸出冊数推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
学生総貸出冊数	18,372	20,724	19,322	20,535	21,578	21,363	20,408	19,862	20,465	21,211
内大学院生	3,946	3,767	3,190	2,604	2,987	3,754	3,214	3,068	3,041	2,820
内学部生	14,426	16,957	16,132	17,931	18,591	17,609	17,194	16,794	17,424	18,391
学生数	2,063	2,074	2,074	2,115	2,159	2,198	2,163	2,133	2,115	2,095
府大学生 1 人当り貸出冊数	8.91	9.99	9.32	9.71	9.99	9.72	9.44	9.31	9.68	10.12
国立大学 (学生 1 人当り)	9.47	9.85	10.14	10.43	10.32	10.36	10.50	10.60	10.93	—
学生貸出冊数 (1 館当り)	21,022	21,561	22,710	23,303	22,614	22,740	23,062	23,208	23,830	—
公立大学 (学生 1 人当り)	11.85	11.90	12.29	12.14	11.71	11.00	11.10	11.25	11.02	—
学生貸出冊数 (1 館当り)	13,671	14,184	14,149	14,161	13,334	12,937	13,161	13,031	12,654	—
私立大学 (学生 1 人当り)	7.12	7.40	7.08	7.29	7.29	7.29	7.04	7.28	7.54	—
学生貸出冊数 (1 館当り)	17,284	17,613	17,190	17,564	17,217	17,059	16,793	17,019	16,377	—
全大学 (学生 1 人当り)	7.82	8.11	7.93	8.15	8.11	8.08	7.90	8.12	8.43	—
学生貸出冊数 (1 館当り)	17,764	18,151	18,047	18,425	17,953	17,830	17,713	17,878	17,507	—

参考資料：文部科学省「大学図書館実態調査結果報告」「学術情報基盤実態調査報告」（平成28年度は結果未発表）京都府立大学：『学生便覧』

### 国立国会図書館デジタル送信サービスはますます順調に利用

開始から 2 年余りでこのサービスは府大の皆さんにとって資料検索・入手手段の一つに認知されたと言えるのではないのでしょうか。（利用は職員によるログインが必要です。平日の17時まで府大カウンターで申込をしてください。）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
複写件数	12件	72件	126件
複写枚数	816枚	729枚	1193枚

\*平成26年度は7月からサービス開始

暑い日が続いてますが、府大図書館では**7/27(木)**から

# 夏休み貸出が始まります!!

学部生・院生の皆さんの通常貸出冊数は

# 12冊です!!

4回生・院生の皆さん!!  
特別貸出(1ヶ月6冊)は  
そのまま  
合計18冊です!!

返却予定日  
10/10(火)

大事な

# ◆図書館からのお知らせ◆

閉館 1 時間 15 分前にある館内  
放送は一般利用者向けです。  
カウンター職員に「府大の学生  
です！コピーします！」と申込書  
を提出してください。

図書館内でのコピーは、  
**平日 20:30**  
**土日 16:30**  
まで受付しています！  
■貸出は閉館 15 分前まで！

地下書庫からの  
入退出方法が  
変更になりました。

図書館を  
どんどん  
利用してください！

府立医大附属図書館(協定校)  
の利用カードの申込が、「府  
立医大下鴨館」のカウンター  
(府大図書館カウンターの横)でもで  
きます！

図書館内で  
語学学習  
しませんか？

詳細は、医大カウンター  
でおたずねください。  
月～金 9:00～17:00  
(13:00～14:00 除く)

視聴覚コーナー (2 階北側トイレ  
付近) に図書館所蔵資料が視聴でき  
るブースが 12 台あります。  
語学の学習や検定用図書 CD が聞け  
ます。  
利用の前にカウンターで「機器利用申込  
書」を記入してください。

## カレンダー

9:00～  
21:00

休館  
第2水曜日  
祝日

※平日17:00以降、土日は行っていないサービスもあります。  
ご了承ください。

歴彩館の周辺整備の遅れのため、当分(文学部研究室引越し完了時)まで返却ポスト  
が利用できません。ご迷惑をおかけしますが、閉館時間中にカウンターへ返却してください。

2017年7月

2017年8月

2017年9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

★7/18(火)～8/5(土) 府民貸出停止  
★7/27(木)～ 夏休み長期貸出開始  
(府大学生・教職員のみ)  
学生の貸出冊数 12冊  
返却期限 10/10(火)

★～8/5(土) 府民貸出停止

★9/25(月)～ 府大学生・教職員通常貸出

